

工事作業安全上のご注意

必ずお守りください

工事作業時の事故防止と、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った工事作業をした時に生じる危害や、損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

Table with 3 columns: 指定以外の端子に電源 (AC100V) を接続しない、電源電圧 (AC100V) 直接端子の所に指定以外の電圧 (例:AC200V) を接続しない、電源 (AC100V) を入れたまま配線工事しない。 Includes various warning icons and text.

注意

Table with 3 columns: 浴室などの湿気が多い場所やホコリの多いところに置かない、直射日光、暖房設備、ボイラーなどの特に温度の上がる場所に置かない、水や薬品のかかる場所に置かない。 Includes various warning icons and text.

お願い

- 配線工事及び機器取付工事には下記の資格が必要です。 (1) 電気配線工事…「電気工事士」 (2) 自火報工事…「消防設備士」甲種4類

※ 商品同梱の取扱説明書を併用願います。

- AC100V以上の電力線と各センサー、付属機器間の配線は別配管工事とするか、配管工事しない時は電力線から、1m以上離して配線してください。 ● この商品は他のHA機器（セキュリティユニット、留守録ユニット、電灯線HAなど）と系統的に接続できません。 ● 日本国外で設置し、使用することはできません。

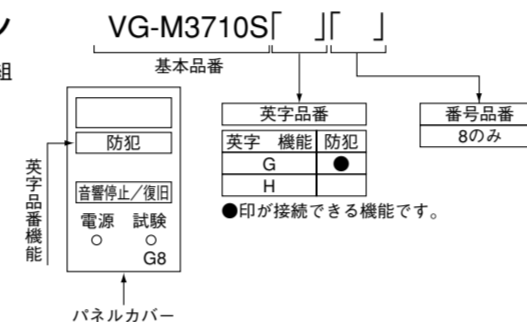
概要・特長

本装置は、集合住宅用室内親機でセキュリティ機能（火災・ガスもれ・非常など）以外に下記特長を有する消防予第220号対応GP型3級受信機です。 ・ガスもれセンサーの接続端子は2端子化（有電圧/無電圧式により接続端子変更は不要）。

室内親機バリエーション

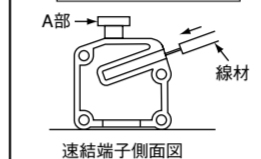
室内親機は、システムによって機能組み合わせができます。

(例) VG-M3710S「」「」について

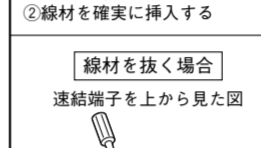


接続連結端子の結線方法

線材を挿入する場合



線材を抜く場合



2 接点出力アダプター結線図

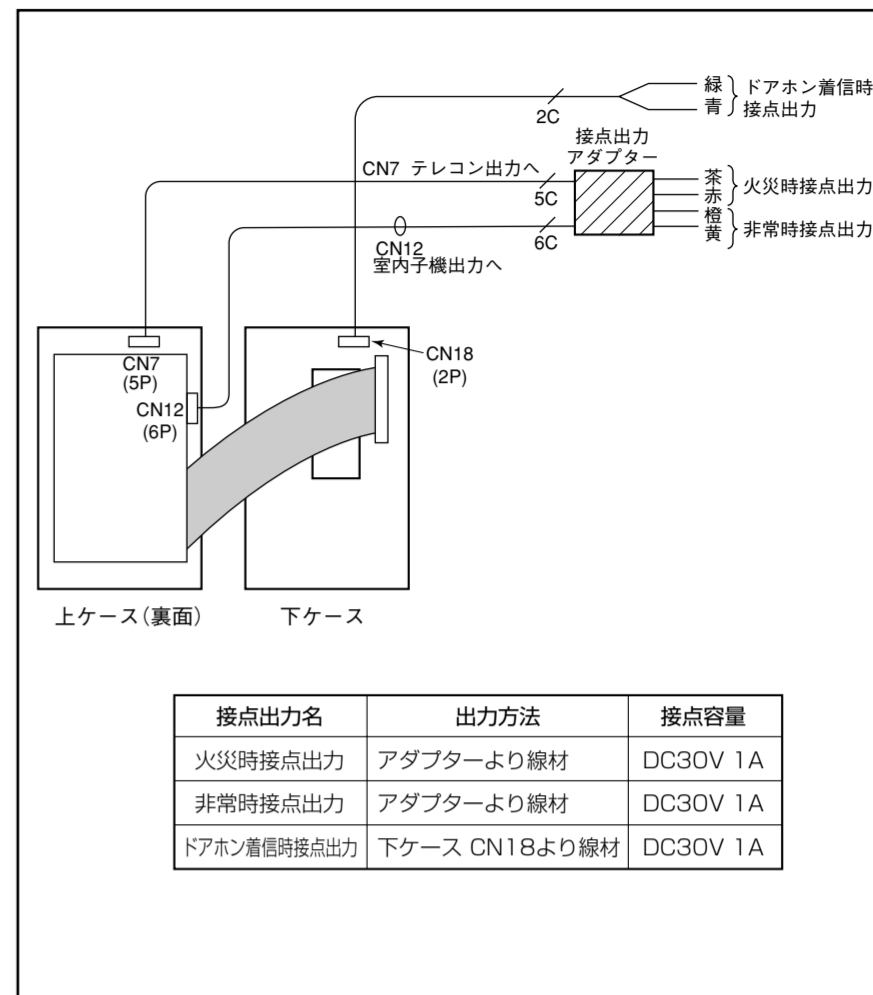
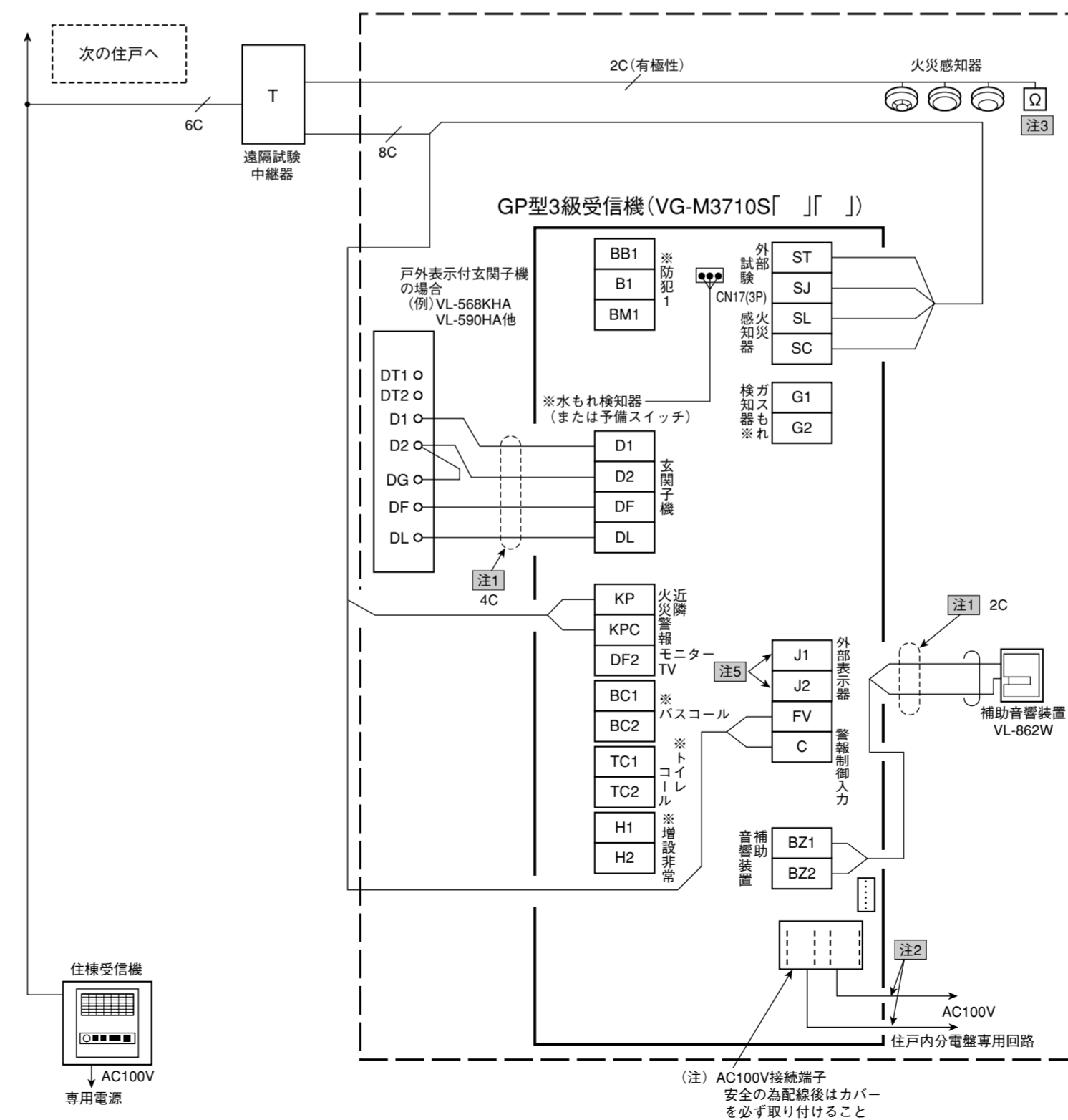


Table with 3 columns: 接点出力名, 出力方法, 接点容量. Lists output names like 火災時接点出力 and their corresponding methods and capacities.

1 配線接続例 住戸内のGP型3級受信機の接続方法

共同住宅用自火報設備〔特例基準220号対応〕



お願い

本GP型3級受信機が接続可能な遠隔試験中継器、住棟受信機、火災感知器、火災感知器用終端器はホーチキ社製に限定されます。接続方法、配線本数等の詳細はそれぞれの機器の説明書を参照。

- 注1 耐熱電線 0.9φ
注2 耐熱電線
注3 SL、SC端子間の終端抵抗をはずし、火災感知器(遠隔試験機能付)の最遠端に、遠隔試験中継器付属の終端器(Ω)を接続してください。
注4 下記「施工設定スイッチ」のNo.4が右側であることを確認してください。

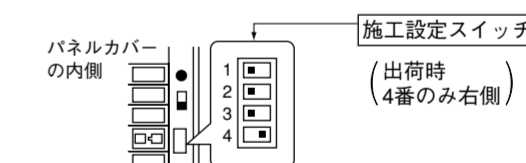


Table with 3 columns: スイッチNo., 左側, 右側. Lists switch settings for various functions like 予備スイッチ選択設定 and 火災確認操作あり.

注5 未使用

お知らせ

※防犯1、ガスもれ検知器、バスコールスイッチ、水もれ検知器（または予備スイッチ）、トイレコール、増設非常の接続および設定については、裏面の「3 配線接続例」を参照願います

(注) AC100V接続端子 安全の為配線後はカバーを必ず取り付けること

